

アラムコ・アジア・ジャパン株式会社と 「サプライヤーフォーラム 2024」を共催

～日本企業のサウジアラビア進出を支援～

2024年11月14日

一般財団法人 中東協力センター

中東協力センターは、アラムコ・アジア・ジャパン株式会社と共催で10月24日、東京にて「サプライヤーフォーラム 2024」を開催しました。本フォーラムは、日本企業がサウジアラビアの投資環境やアラムコの産業投資プログラム（Namaat）、国内産業奨励プログラム（In-Kingdom Total Value Add: iktva）等について理解を深め、進出機会を検討する場となることを目的とし、ガーズィー・ビンザグル駐日サウジアラビア大使閣下のご臨席のもと、267名が参加しました。



ビンザグル駐日サウジアラビア大使閣下



フォーラムの様子①

フォーラムは、当センターの理事長 小平による開会の挨拶に続き、アラムコ シニア・ヴァイス・プレジデントのヤファ・アブシャル氏による基調講演で始まりました。アブシャル氏は、同社が産業分野において重要な役割を担い、生産性の向上や産業の多様化、サステナビリティを通じて世界をけん引しているとの方針について語りました。



中東協力センター 小平理事長 開会挨拶



アラムコ アブシャル SVP 基調講演

また、今後2年間で73件の大型プロジェクト（石油ガス精製設備、パイプライン、洋上プラットフォーム、港湾設備など）に着手する方針を明らかにし、これまでに手掛けた代表的な大型設備投資として、アブドゥルアジーズ王世界文化センター、キング・アブドゥラー・スポーツ・シティ（サッカースタジアム）なども紹介し、参加した日本企業に対し、数多くの投資機会があることを示し、プロジェクトへの参加を広く呼びかけました。

フォーラムでは、アラムコからの iktva、CPA (Corporate Procurement Agreement) の説明に加え、サウジアラビア投資省が魅力あるサウジアラビアの投資環境に関し説明しました。サウジアラビア工業開発基金 (SIDF) がこれまでの融資実績について紹介し、サウジアラビア工業用地公団 (MODON) がサウジアラビア全域で 36 か所の工業団地の開発状況を発表しました。

さらに、当センター審議役 高澤からも日本企業の現地進出を支援する各種スキームを紹介し、サウジアラビアでの多くの投資機会への参加を多面的に支援していることを日本企業各社に伝えました。



フォーラムの様子②



フォーラムの様子③

日本企業 3 社によるプレゼンテーション

続いて、サウジアラムコと関係の深い日本企業を代表して、「日揮グローバル株式会社」、「横河サウジアラビア社」、「Terra Drone 株式会社」の 3 社が、サウジアラビアを中心とした事業内容について講演を行いました。

中東協力センター支援スキーム相談デスク

フォーラム終了後には、アラムコによる iktva、CPA 等に関する日本企業向けの相談デスク、当センターの支援スキームに関心を持つ参加者向けの相談デスクを開設し、多くの日本企業にご利用いただきました。



中東協力センター支援スキーム相談デスク

当センターは引き続き、サウジアラビアを代表する企業であるサウジアラムコと協力し、関係機関と連携の上、サウジアラビア投資に向けた日本企業の活動を支援してまいります。

以上